

事業所名

ふくら勇氣（児童発達支援事業所）

支援プログラム

作成日

2025年

3月

21日

法人（事業所）理念		「美・善・愛」の心であらゆる人々の人生を理解し幸福をふくらませ世の中を良くしていきます									
支援方針		医療ケアが必要なお子様も、社会との交流や様々な体験を通して生きる力を身につけ、自分の役割を持ちたいと願っています。看護師が適切なケアをしながら、季節行事に合わせた楽しいイベント・工作・音楽療法などの活動や、お子様が持っている力を引き出す機能訓練なども行います。そしてなによりお子様たちは日々の療育の中で、指導員たちからの愛情で心豊かに成長すると思っております。ふくら職員は、子供たちと一緒に生きる喜びを探したいと願っております。									
営業時間		月～土	8時	00分	から	19	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活上必要なバイタルチェックや投薬その他必要な管理、記録を行う。また医療機関や協力医療機関を通じて健康保持のための適切な支援を行う。 ・利用者の状況に応じて食事、整容、更衣、入浴、排泄等生活全般にわたる支援を行う。 									
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・セラピストによる機能訓練をはじめ、体操や感覚、刺激マッサージ、リトミック、音楽療法など本人の持つ身体機能維持を目的に機能低下を予防。 									
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・色、比較、分類、感情概念や時間概念など遊びの中での訓練。 									
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・声掛けを多く行い本人の表情などで気持ちを汲み取る。 ・家庭と共通したコミュニケーション支援の提供。ジェスチャーや文字で自分の気持ちを伝える訓練。 									
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・他の利用者や多職種の職員と関わり家族以外の人との関係を構築する。外出などの体験で普段いかない場所へ出掛け社会や自然を感じながら集団生活で仲間意識を持つ。 									
家族支援		①児童の発達や健康状態 ②支援内容 ③家庭生活 ④集団生活 ⑤きょうだい児 ⑥制度 家庭のニーズに応じ、①～⑥などの相談支援を事業所やZOOMにて実施				移行支援		・保育所等への訪問や受け入れの際に行った会議等を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携			
地域支援・地域連携		・相談支援事業所との情報共有				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・全体勉強会（月1回） ・外部スキルアップ研修 ・育成者向け研修 ・新人研修 ・管理者、児童発達管理責任者向け研修など 			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・初詣・餅つき・節分・誕生日会・ドライブ・買い物・四季の工作・夏祭り・プール遊び・ハロウィン・クリスマス会・ふくら映画館・スノーズレン・音楽療法など 									